

# 令和5年度における 沖縄振興予算増額確保に向けた取組

---

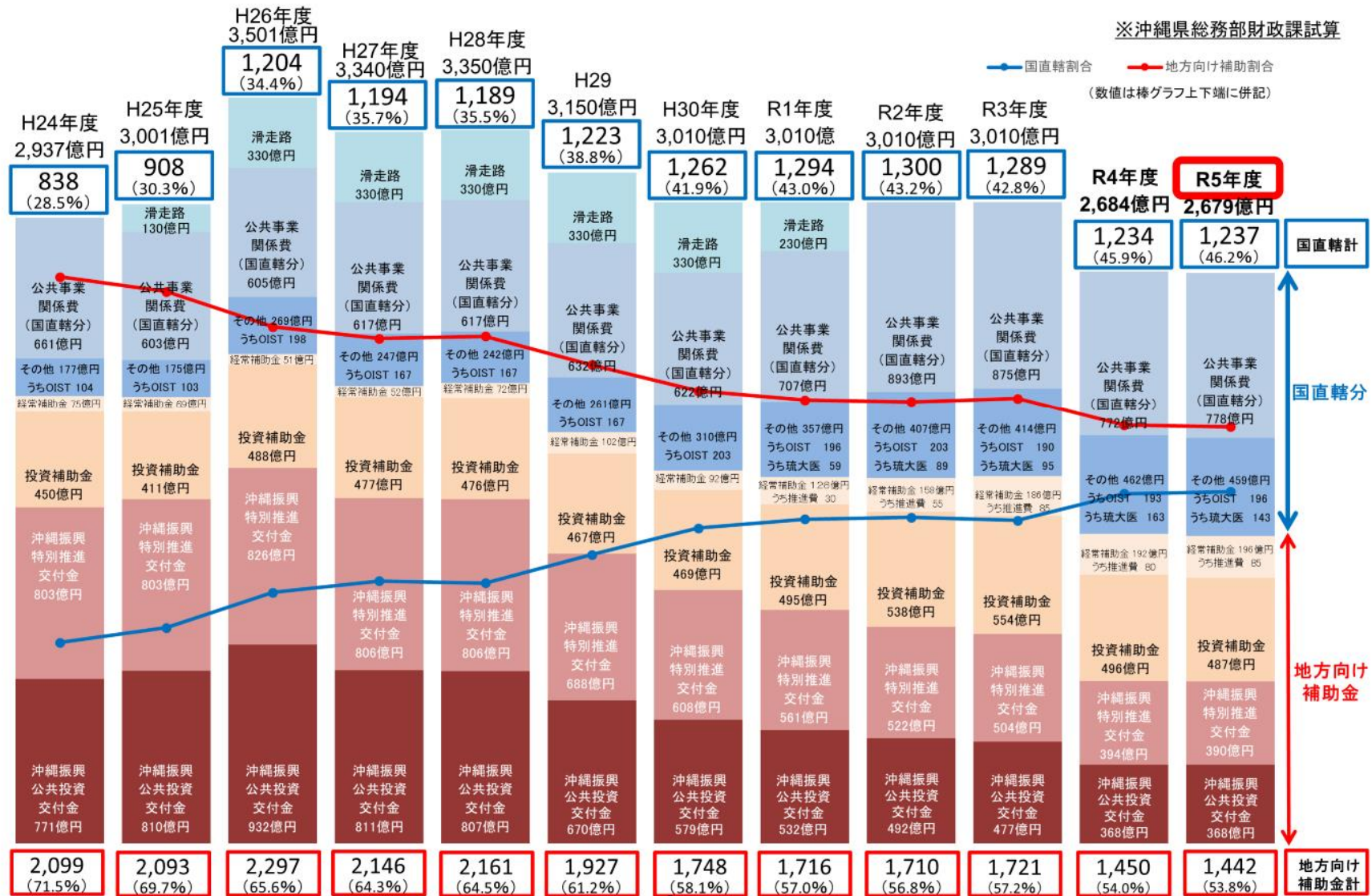
令和6年3月  
 沖縄県

# 現状・課題

---

# 沖縄振興予算の推移

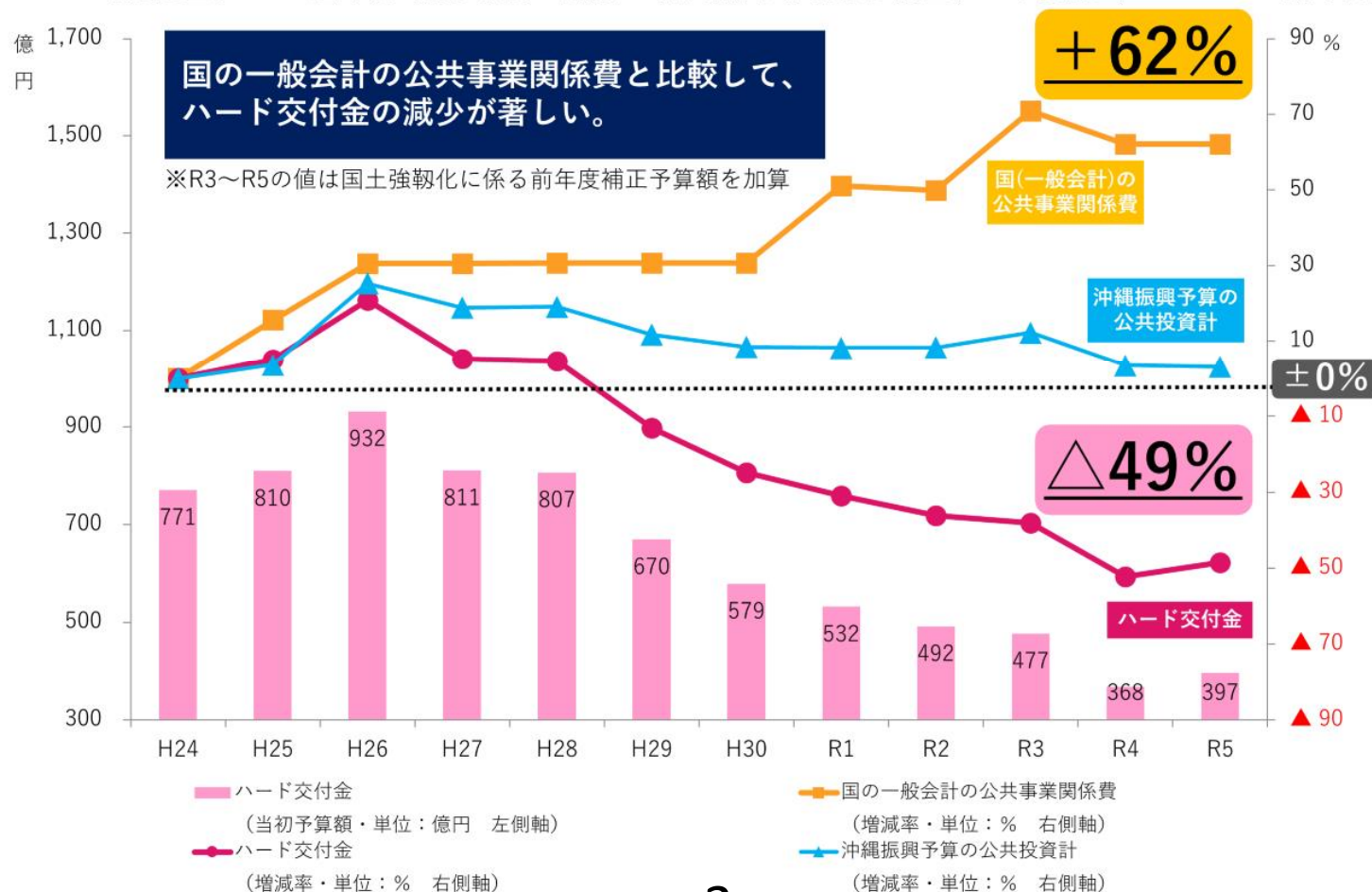
沖縄振興予算総額については、平成26年度の3,501億円をピークに減少が続いているが、国直轄事業の額については、那覇空港滑走路増設事業終了後も1,200億円から1,300億円台とほぼ横ばいで推移。



# 地方向け補助金の減額の影響（公共事業関係費等の推移）

- ・ 地方向け補助金（特に沖縄振興一括交付金（同交付金は、沖縄振興公共投資交付金（以下、「ハード交付金」という。）及び沖縄振興特別推進交付金（以下、「ソフト交付金」という。）のことを指す）の減額により、新規事業の先送り、継続事業の事業期間の延長など各分野において影響が生じている。
- ・ 中でもハード交付金の減額に伴い、あらゆる分野で事業の進捗に遅れが生じ、地域の発展等に影響が出ている。

1 H24年度を基準とした各年度当初予算額の増減率・沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)のH24～R5当初予算額



# 取組の概要・成果

---

# 令和6年度沖縄振興予算の要請に係る説明のポイント

関係要路に向けて、以下の点を重点的に説明した。

- ・沖縄振興予算において、国直轄事業の額は横ばいで、地方向け補助金の額は減額基調
- ・国の防災・減災、国土強靱化関連の事業費を含めた公共事業費は増額傾向であるのに対して、ハード交付金は減額傾向
- ・ハード交付金の減額による具体的な影響と減額にかかる市町村の意見



# 令和6年度沖縄振興予算の確保に向けた要請活動

全41市町村長との意見交換を踏まえ、沖縄振興予算の確保に向け認識を共有したうえで、諸課題に対する「沖縄の声」を、内閣府沖縄担当大臣や沖縄振興調査会など関係要路へ要請。

○5月 県と全41市町村において令和6年度沖縄振興予算の確保に向けて認識を共有するとともに、市町村の意見を関係要路に伝えるため、市町村意見交換会を開催

※ 市町村の意見を丁寧に聞き取ることができるよう、3回に分けて意見交換会を開催

5月 市町村意見交換会



○7月 内閣府沖縄担当大臣に対して沖縄振興一括交付金の増額確保に係る要請

○8月 内閣府沖縄担当大臣及び関係要路に対して沖縄振興予算の増額確保に係る要請

※ 7月～8月の要請と併せて、沖縄振興調査会会長をはじめとする関係要路に対してハード交付金の減額の影響事例を説明

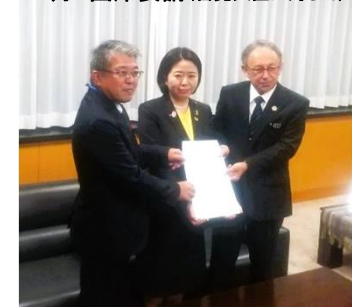
8月 国庫要請(岡田大臣に対して)



○9月 内閣府沖縄担当大臣に対して、沖縄振興予算確保についての要請(来沖の際)

○11月 内閣府沖縄担当大臣に対して、沖縄振興予算確保についての要請

11月 国庫要請(自見大臣に対して)



# 沖縄振興公共投資交付金に係る 予算減額の主な影響事例

---



# 予算減額影響のポイント

ハード交付金を含むいわゆる公共事業は、国直轄事業、県事業、市町村事業が一体的に整備されることでその効果が相乗的に発現するものと考えているが、ハード交付金の予算減額により、以下のような影響が生じている。

## ○社会資本整備(道路)

ハード交付金は、緊急性の高い安全・安心や渋滞緩和の他、地域住民の多様なニーズに対応するための事業等に活用されているが、近年、予算が減少傾向にあることから、事業効果の発現までに長期間を要している状況

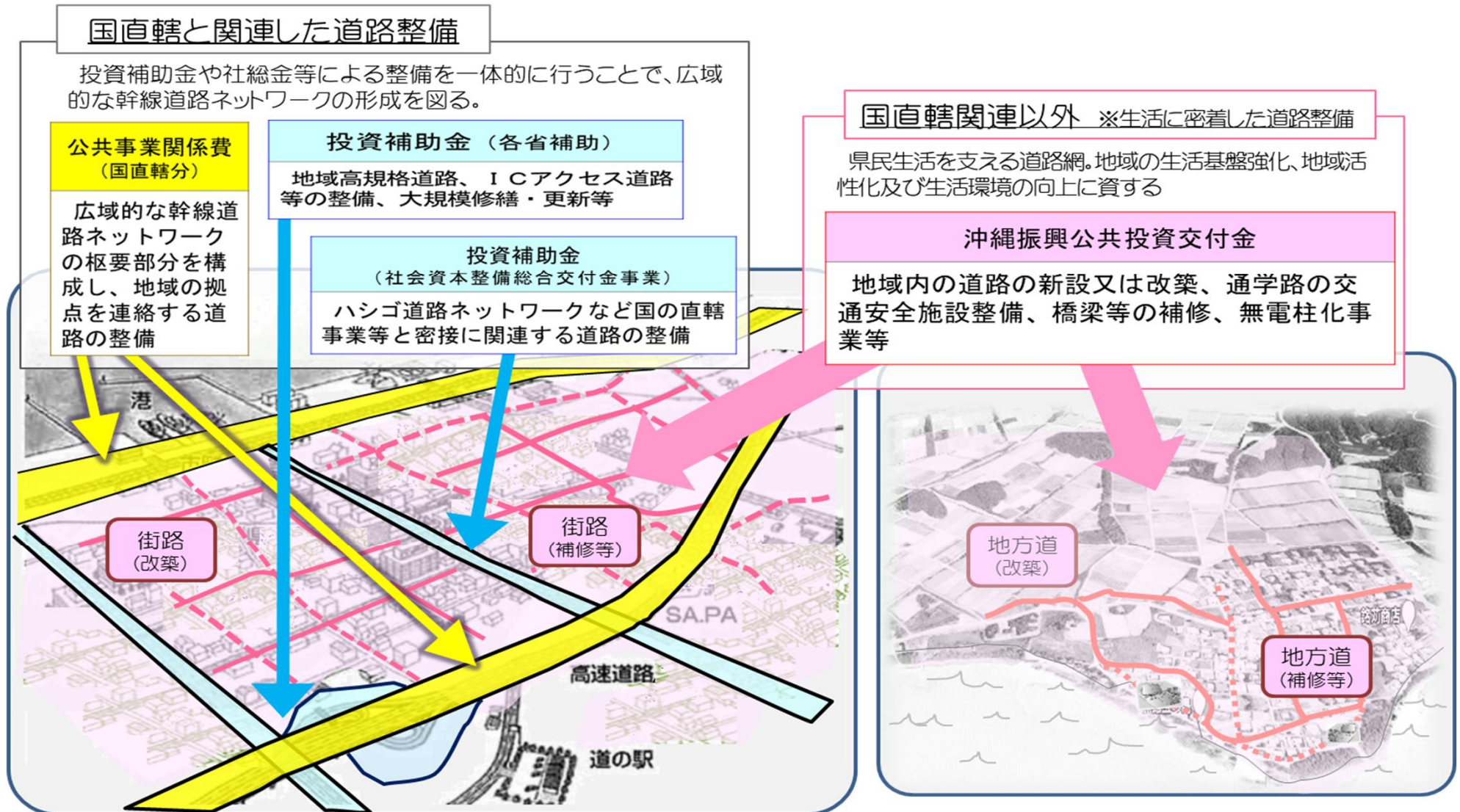
## ○農業生産基盤整備

近年、減少傾向が続いているハード交付金では、小規模離島等の受益面積の小さい農業生産基盤整備の計画的執行ができず、農家の所得向上効果の発現が遅れている状況

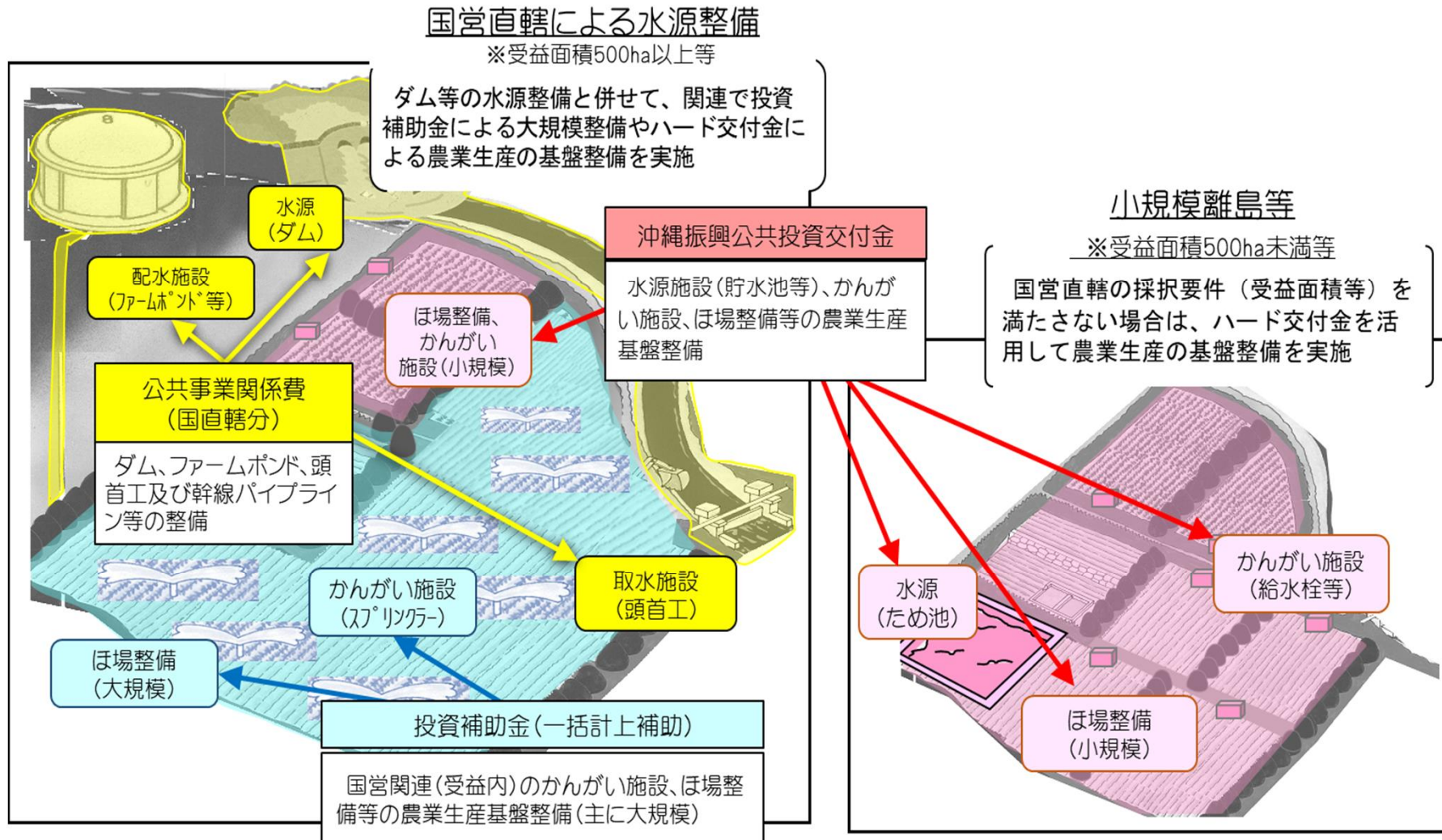
## ○学校施設環境改善

投資補助事業(築35年未満)の関連整備として、ハード交付金を優先的に配分せざるを得ず、それ以外の箇所(築35年以上の危険改築事業)について計画的な執行ができず老朽化が進んでいる状況

# 国直轄事業等と沖縄振興公共投資交付金の関係 (社会資本整備(道路))



# 国直轄事業等と沖縄振興公共投資交付金の関係 (農業生産基盤整備)



# 国直轄事業等と沖縄振興公共投資交付金の関係 (学校施設環境改善)

〔 公立小中学校など 〕

〔 県立学校・特別支援学校 〕

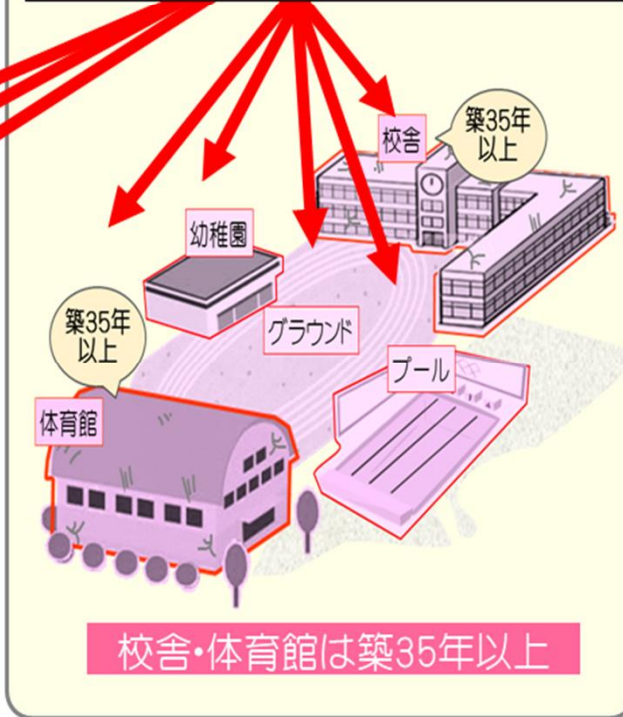
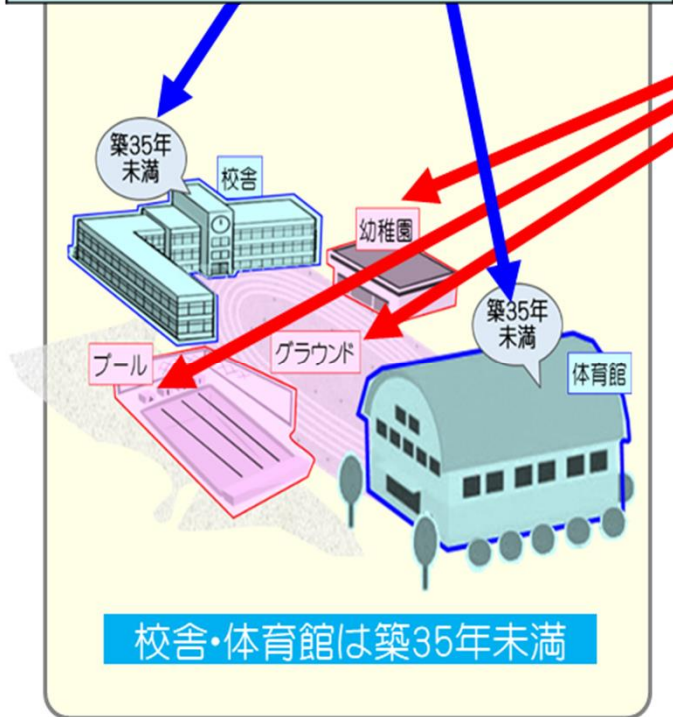
**投資補助金(沖縄教育振興事業費)**

- 校舎や体育館の新增設
- 建築後**35年未満**の危険改築事業
- ※ 耐震化計画に基づく未耐震校舎等が優先。
- 耐震補強事業

**沖縄振興公共投資交付金**

校舎、体育館の改築、プール、グラウンド、幼稚園、給食施設等

校舎危険改築、グラウンド整備、空調整備、トイレ改修、産業教育施設整備など



空調整備

校舎改築

築35年以上経過の校舎等 (床面積200㎡以上)

年度	棟数
R1	122
R2	141
R3	167
R4	189
R5	211
R6	229
R7	241
R8	250
R9	264
R10	285

# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (港湾改修事業等：中城湾港(泡瀬地区))

事業分野：港湾

## 【事業概要】

### ○事業名

- ・港湾改修事業
- ・緑地等施設整備事業

### ○地区名

- ・中城湾港(泡瀬地区)

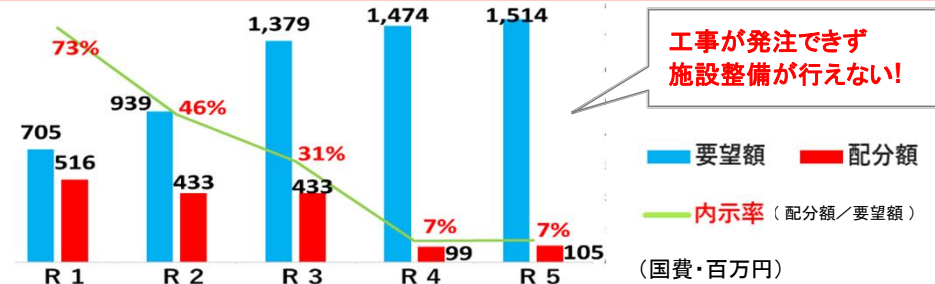
### ○事業概要

- ・総事業費：21,845 百万円  
(うち国費：13,151 百万円)
- ・事業主体：沖縄県
- ・事業期間：平成13年度～令和13年度
- ・整備目的：沖縄本島中部東海岸地域の活性化を図るため、国・県・沖縄市が協力して取り組んでいる事業で、スポーツを中心とした商業や宿泊、海洋レジャーなどを展開するスポーツコンベンション拠点の形成を図るものである。



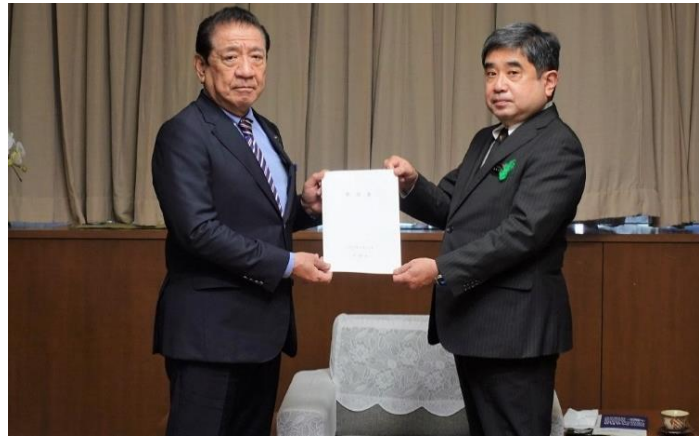
## 予算減額の影響

施設の完成及び供用開始に遅延が生じ、事業効果発現が遅れている。



## 地域振興に係る影響

【沖縄市長からの県事業の推進に関する要請(令和5年2月14日)】



具体的な県民生活等への影響



## 事業目的

- スポーツコンベンション拠点の形成
- 人々の交流や新たな雇用等による地域活性化



- 事業の進捗遅れ
- 埋立完成遅れ(R7年 ⇒ R11年)  
⇒ 事業効果の発現が遅れる

【開発が稼働した場合】  
沖縄市内への経済効果(波及効果)  
※沖縄市算出

約3,000人の雇用の創出  
(沖縄市の就業人口(H28年度推計)の約6%に相当)

# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (沖縄振興公共投資交付金(道路):石垣空港線)

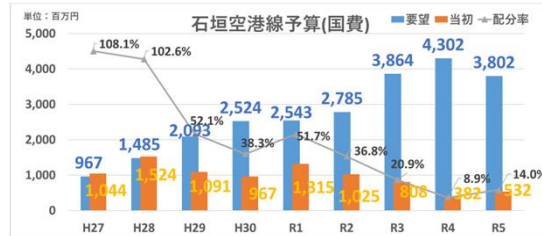
事業分野：道路

## 【事業概要】

- 事業名
  - ・沖縄振興公共投資交付金(道路)
- 路線名
  - ・一般県道石垣空港線
- 事業概要
  - ・総事業費：19,141,000千円  
(うち国費：17,226,900千円)
  - ・事業主体：沖縄県
  - ・事業期間：平成21年度～令和9年度
  - ・整備内容：県道の新設
  - ・事業規模：L=3.0km、W=28.0m(4車線)  
L=0.5km、W=19.75m(3車線)  
L=1.6km、W=11.5m(2車線)  
L=3.8km、W=9.0m(2車線)
  - ・一般県道石垣空港線は、平成25年3月に開港した石垣空港と国道390号平得交差点を結ぶ路線であり、石垣空港と市街地・石垣港等が直結される重要な路線である。
  - ・当該道路の整備により既存道路の混雑や事故の低減が図られるとともに、八重山圏域における物流及び交流の活性化に寄与するものである。

## H27年度以降の予算減額の影響

・用地について約96%がこれまでに取得済みであるが、工事着手できていない区間が多数存在する。



具体的な県民生活等への影響

### ① 新石垣空港～市街地等の移動時間が短縮されない

新石垣空港と市街地等とを結ぶ重要な路線が供用ができない。

新石垣空港から市街地・石垣港等への時間短縮効果(約39分→約23分)を長期間、住民や観光客が享受できない。



### ② 国道390号の代替路が無い状態が長期化する

現道として利用される国道390号は大雨時に道路冠水が発生。

石垣空港線が利用できず国道390号の代替路が無い状態が長期化する。



### ③ 大規模災害時に、緊急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保できない

電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の道路において、無電柱化が進められない。

大規模災害時に、電柱倒壊による道路が閉塞するなど緊急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保できない。



# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (総合流域防災事業:河川改修(報得川))

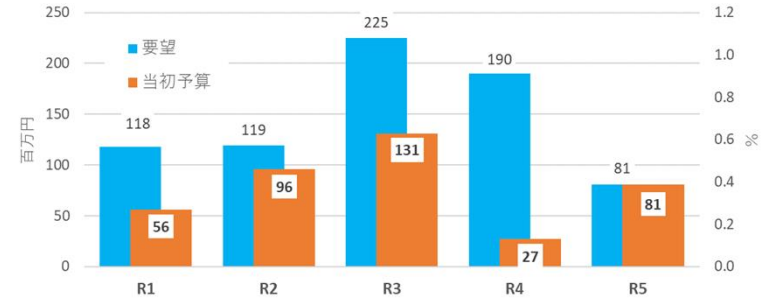
事業分野：治水

## 【事業概要】

- 事業名  
総合流域防災事業
- 地区名  
河川改修(報得川)
- 事業概要  
報得川河川改修事業  
総事業費:2,020,000千円  
(うち国費:1,818,000千円)
- 事業期間:平成26年度  
～令和15年度
- R5年度:90,000千円  
(うち国費:81,000千円)  
護岸工、詳細設計等一式
- R4年度:30,000千円  
(うち国費:27,000千円)  
用地補償一式
- 整備内容:河川改修により早期に浸水被害の軽減を図る。
- 浸水被害の状況  
平成11年、19年、23年、令和元年、2年、3年、4年に台風や豪雨時に浸水被害が発生。

## 予算減額の影響

ハード交付金を活用し、河川改修事業を予定していたところ、予算の減額の影響を受け、工事や設計を先送りせざるを得ないため、事業進捗の遅れが生じている。



## 河川改修整備の遅れ

○大雨時に河川が氾濫しないように河川幅を大きくするための河川改修事業の進捗が遅れる。

○大雨時に河川が氾濫してしまい、浸水被害が発生する恐れが生じる。

具体的な県民生活等への影響



# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (沖縄振興公共投資交付金事業費(街路):龍潭線)

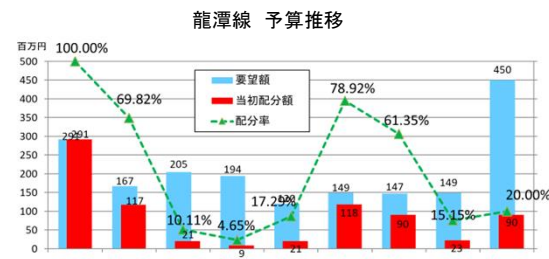
事業分野：道路

## 【事業概要】

- 事業名
  - ・沖縄振興公共投資交付金事業費(街路)
- 路線名
  - ・都市計画道路 龍潭線
- 事業概要
  - ・総事業費：11,237,000千円  
(うち国費：10,113,300千円)
  - ・事業主体：沖縄県
  - ・事業期間：平成11年度～令和8年度
  - ・整備内容：都市計画道路の車線拡幅
  - ・事業規模：L=1.2km W=16m(2車線)
  - ・都市計画道路 龍潭線は、那覇市中心部から主要観光地である首里城公園への交通アクセスの要所となっており、今後予定されている首里城正殿の復元(R8)に合わせた事業進捗が求められる。

## H27年度以降の予算減額の影響

・事業に必要な予算が十分に確保できず工事進捗が遅れているため今後、首里城復興後の経済活動等に影響が生じることが懸念される。

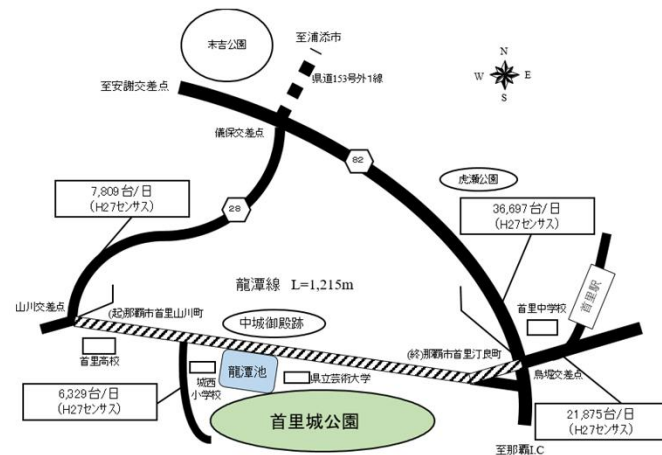


## 具体的な県民生活等への影響

○電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の道路において、道路閉塞等の被害を防止する無電柱化を実施する。

○電柱倒壊による道路閉塞を未然に防ぎ、大規模災害時の被害の軽減を図るとともに、緊急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保する。

○龍潭線は、市により都市計画形成地域に指定されており、景観に配慮した整備を進めている。そのため、首里城復興に合わせた整備を行い、快適な歩行者空間の確保と交通渋滞の緩和を図る。





# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (水利施設整備事業(交付金事業):旧東第2地区(南大東村))

事業分野：農業農村整備

## 【事業概要】

### ○事業名

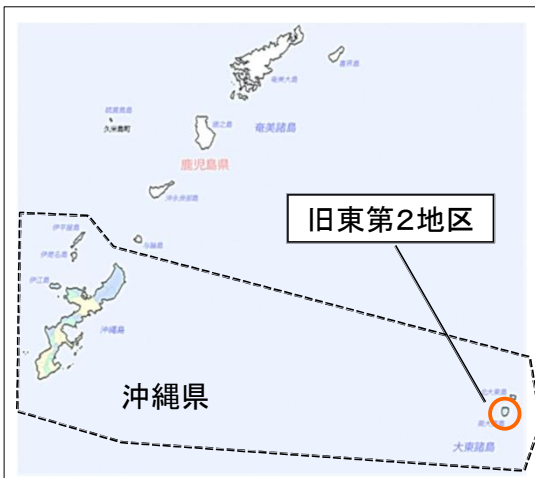
- ・水利施設整備事業  
(交付金事業)

### ○地区名

- ・旧東第2地区(南大東村)

### ○事業概要

- ・総事業費：3,525,800千円  
(うち国費：2,820,640千円)
- ・事業主体：沖縄県
- ・事業期間：平成23年度  
～令和8年度
- ・整備内容：農業用水源 1基



## H27年度以降の予算減額の影響

当初計画においては、H30年度より水源の供用開始を予定していたが、予算減額の影響を受け、事業進捗率の低下・供用開始予定年度の遅れが生じている。関連事業含め年間約6.3億円の効果発現に影響がでている。※根拠：令和2年度 公共事業再評価調書より

	H23	H24	～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
当初計画	採択	→											
現計画	採択	→											

## 水源整備遅延による干ばつ被害

本地区受益地は、サトウキビ主体の農業経営が行われている。圃場区画は整備され、ハーベスター等による機械化が進んでいる。  
しかし、農業用水源が未整備のため、毎年のように干ばつ被害を受けており、農業用水源の早期整備が課題。

供用開始の遅れ(H30年度→R8年度)  
→効果発現遅れ(年間6.3億円)

具体的な県民生活等への影響

## 水不足、塩害によるロール現象



## 干ばつ時のかん水効果



## 水源整備(貯水池)



# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (農業集落排水事業: 恩納第2地区(恩納村))

事業分野: 農業農村整備

## 【事業概要】

### ○事業名

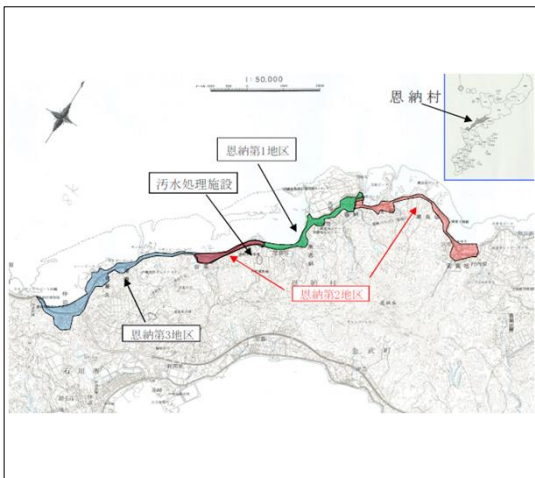
- ・農業集落排水事業

### ○地区名

- ・恩納第2地区(恩納村)

### ○事業概要

- ・総事業費: 5,507,073千円  
(うち国費: 4,130,304千円)
- ・事業主体: 恩納村
- ・事業期間: 平成27年度  
～令和6年度
- ・整備内容: 管路施設 24,737m  
資源循環施設 一式  
中継ポンプ施設 一式



## R2年度以降の予算減額の影響

当初計画においては、R2年度より供用開始を予定していたが、予算減額の影響を受け、事業進捗率の低下・供用開始予定年度の遅れが生じている。

	H27	～	R2	R3	R4	R5	R6
当初計画	→						
現計画	→						

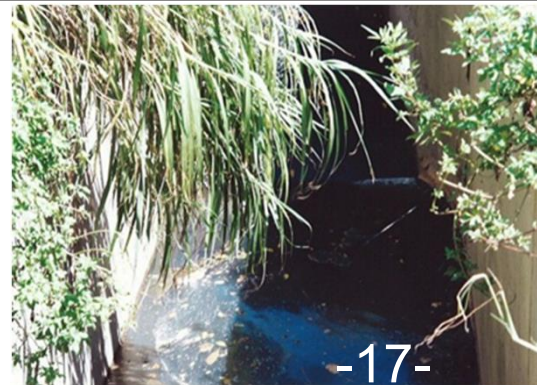
## 農業集落排水施設整備の遅延による影響

恩納村恩納第2地区では、生活様式の高度化、混住化の進展に伴い、生活雑排水が増加し、その一部は未処理のまま集落内排水路から農業用水路や河川に流入し、その結果、水質の悪化に伴う営農効率の低下、悪臭による農作業中の不快感、また各水路の汚濁の進行からゴミの不法投棄が懸念され、農業及び農村生活環境の両面に大きな問題が生じている状況である。

## 供用開始の遅れ(R2年度→R6年度)

具体的な県民生活等への影響

現状



環境への影響事例



左: 処理水 右: 未処理水

導入結果事例



# 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例 (学校施設整備補助事業:名護高校)

事業分野：学校改築等

## 【事業概要】

- 事業名
  - ・学校施設整備補助事業 (危険改築)
- 地区名(高校名)
  - ・名護市(名護高校)
- 事業概要
  - ・総事業費：789,725千円 (うち国費：467,426千円)
  - ・事業主体：沖縄県
  - ・事業期間：令和6年度～令和7年度
  - ・整備内容：学校施設 2,250㎡



## H27年度以降の予算減額の影響

ハード交付金を活用し、名護高校危険改築工事を令和2年度完成を予定していたところ、予算の減額の影響を受け、令和4年度終了時点の進捗率・完了予定年度も遅延が発生

事業進捗の影響	計画当初 (H29)	現況 (R05時点)
事業期間	R01-R02	R06-R07
完成予定年度	R02	R07

※R05時点の進捗率は0%

## 危険改築工事先送りによる危険建物の存続

- 危険改築工事先送りにより、構造上危険な状態が継続。
- 名護高校屋内運動場は昭和57年に建築され41年が経過している。当県においては平均的に築後35年程度で改築工事を実施しているところであるが、既にこれを6年超過している状況。



具体的な県民生活等への影響

※施設の各所にコンクリートの剥離やひび割れが目立ってきており、安全性の確保が大きな課題となっている。

※学校施設は未来を担う子供達が集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、災害時には避難場所としての役割も果たす重要な施設であるため、先送りは深刻な問題である。

構造上危険な状態にある学校の建物 (R5.4.1現在)

	学校数	棟数
高等学校	21校	39棟
特別支援学校	3校	4棟

※耐力度点数(10,000点満点)が次の点数以下になった建物を構造上危険な状態にある建物という。

①高校：4,500点以下 ②特別支援学校：5,000点以下 名護高校屋内運動場：4,429点

# 要請の成果

---

# 令和6年度沖縄振興予算に係る要請の成果

令和6年度沖縄振興予算は、沖縄振興一括交付金の10年ぶりの増額など2,678億円が計上されるとともに、令和5年度の補正予算として、ハード交付金が約39億円、防災・減災、国土強靱化関連予算として約132億円が措置されるなど、計329億円計上。

## 令和5年度(補正)沖縄振興公共投資交付金活用事業

令和5年度補正予算額 : 39.39億円

金額は国費ベース

### 社会資本整備 R5補正 : 25.9億円

#### 【道路】R5補正 : 3.6億円

- ・道路事業(市町村道改良)
  - 名護市(伊差川為又線外)、豊見城市(市道2号線)
  - うるま市(安慶名西原線、兼箇段喜仲線)
  - 今帰仁村(与那嶺線)、読谷村(大木喜名線)
  - 北中城村(仲順屋宜原線)、南風原町(町道10号線)
  - 伊是名村(上仲田線)

#### ・土地区画整理事業

- 西原町(西原西地区)、沖縄市(中の町地区)

#### 【道路(離島の無電柱化関連)】R5補正 : 10.0億円

- 平良久松港線、市場通り線(西仲宗根)、マクラム通り線、石垣空港線、八重山管内国道390号

#### 【港湾】R5補正 : 9.0億円

- ・港湾改修事業(中城湾港泡瀬地区)

#### 【治水】R5補正 : 0.5億円

- ・総合流域防災事業(報得川)

#### 【下水道】R5補正 : 0.8億円

- ・下水道整備
  - 公共下水道事業(宜野湾市、浦添市、本部町)

#### 【都市公園】R5補正 : 2.0億円

- ・都市公園事業
  - 与那原町(与原公園)、南風原町(津嘉山公園)

### 農林水産基盤整備 R5補正 : 2.7億円

#### 【農業農村】R5補正 : 2.2億円

- ・農業基盤整備促進事業
  - 北大東村(北大東地区)
- ・農業集落排水事業
  - 糸満市(米須地区)、恩納村(恩納第2地区)
  - 伊江村(伊江(I期)地区)

#### 【漁港】R5補正 : 0.5億円

- ・地域水産物供給基盤整備事業
  - 伊是名村(伊是名漁港)

### 医療施設等施設整備 R5補正 : 10.8億円

#### 【医療施設等】R5補正 : 10.8億円

- ・医療施設の整備に対する補助
  - 那覇市立病院

那覇市立病院完成イメージ



中城湾港(泡瀬地区)埋め立て完了イメージ



離島の無電柱化事例



無電柱化前



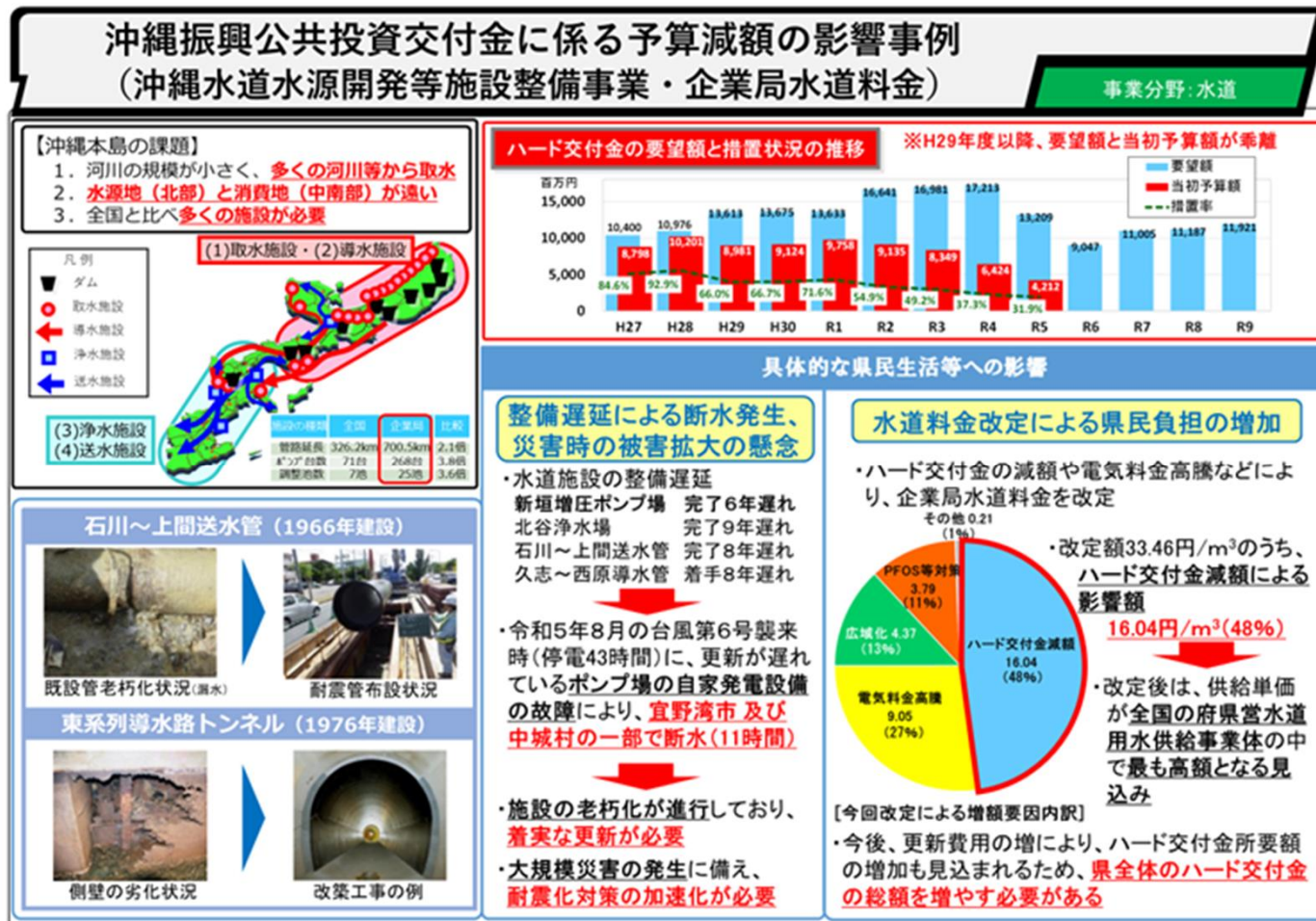
無電柱化後

# R7に向けた取組

---

# 新たに顕在化した課題

沖縄振興一括交付金(特にハード交付金)は、県と市町村の要望額と国の予算措置額に乖離がある。このような中、ハード交付金の減額に伴う影響により、老朽施設更新等に基因する水道料金改定や、学校施設整備における危険改築の先送り、道路整備の遅れに伴う取得済み道路用地の維持管理の問題などの課題が新たに顕在化。



# 令和7年度沖縄振興予算の増額確保に向けて

---

全41市町村及び内閣府とも意見交換を重ねたうえで、内閣府沖縄担当大臣をはじめとする関係要路に対し要請を行う方針。

その際、より沖縄の声を効果的に発信するために、県と市町村との共通の思いである沖縄振興予算、とりわけ沖縄振興一括交付金の増額確保をどのように実現していくかについて、市町村の意見も聞きながら検討していきたい。



# 參考資料

---

# 令和6年度国庫要請の取組実績

日程	県対応者	相手方	調整内容（※全て対面）
4月21日	池田副知事 総務部長 企画部長	内閣府 政策統括官、官房審議官 総括担当参事官、企画担当参事官	令和6年度国庫要請等に向けた意見交換
5月12日	池田副知事 総務部長 企画部長	内閣府 振興局長、総務課長	令和6年度国庫要請等に向けた意見交換
5月16日	財政統括監 財政課長 農水部長、土木部長 (振興局のみ)	総括担当参事官、企画担当参事官、総務課長、振興第一担当参事官、振興第二担当参事官、振興第三担当参事官、特定事業担当調査官	第1回内閣府との意見交換会
5月22日 23日	池田副知事 関係各部署局長等 【総務部】 総務部長、財政統括監、財政課長	41市町村長等	令和6年度国庫要請等に向けた市町村長との意見交換会
7月5日	総務部長 財政課長	内閣府 総括担当参事官、企画担当参事官 総務課長	第2回内閣府との意見交換会
<b>7月13日</b>	<b>池田副知事 総務部長 財政課長</b>	<b>内閣府沖縄担当大臣 (代理：内閣府沖縄振興局長)</b>	<b>令和6年度沖縄振興一括交付金の増額要請（7月要請）</b>
7月14日	知事 宮里町村会会長 新垣八重瀬町長 新垣南大東村長 総務部長 財政課長	自民党沖縄振興調査会 小淵会長、橘幹事長	沖縄振興一括交付金減額による影響事例説明
7月25日 26日	池田副知事	関係国会議員	沖縄振興一括交付金減額による影響事例説明
7月26日	池田副知事 関係部局長等（総、 企、福、保、農、商、 文、土、教、企業）	内閣府 沖縄振興局長 総括参事官、総務課長(ほか)	第3回内閣府との意見交換会
<b>8月1日 ～4日</b>	<b>池田副知事 財政課長 宮里町村会会長（沖 縄担当大臣のみ）</b>	<b>岡田内閣府沖縄担当大臣 小淵自民党沖縄振興調査会長 公明党21世紀委員会 県選出国会議員 等</b>	<b>8月要請 ※台風襲来に伴い副知事対応</b>

日程	県対応者	相手方	調整内容（※全て対面）
8月8日 9日	池田副知事 総務部長	自民党沖縄振興調査会幹部	沖縄振興一括交付金減額による影響事例説明
8月10日	知事 池田副知事 財政課長	岡田内閣府沖縄担当大臣	8月要請の御礼
9月14日	財政課長	内閣府 総括参事官、総務課長	第4回内閣府との意見交換会 (概算要求の考え方について)
9月19日	池田副知事	内閣府 政策統括官	沖縄振興予算に関する意見交換
9月28日	知事、両副知事 総務部長、企画部長	自見内閣府沖縄担当大臣	大臣訪沖（大臣就任挨拶）の際に沖縄振興予算確保について要請
<b>11月7日 ～9日</b>	<b>知事 池田副知事 総務部長 財政課長</b>	<b>自見内閣府沖縄担当大臣 岡田自民党沖縄振興調査会長 公明党21世紀委員会 県選出国会議員 等</b>	<b>11月要請</b>
12月25日 ～26日	池田副知事 総務部長 財政課長	内閣府沖縄担当大臣 (工藤副大臣対応) 小淵自民党沖縄振興調査会相談役 橋本自民党沖縄振興調査会長代理 県選出国会議員 等	お礼まわり
1月28日	知事 池田副知事 照屋副知事	林官房長官	沖縄振興予算の確保 ※官房長官訪沖の際に要請
2月5日	池田副知事 総務部長 (公室長、商工部長)	参・予算委員会理事・委員 櫻井委員長、臼井理事、加藤理事、 小林理事、中西理事、宮崎理事、 石橋理事、杉尾理事、河野理事、 金子理事、伊藤委員、山添委員	沖縄振興一括交付金減額による影響事例等説明 (委員会希望により、基地政策、IT物流施策について説明) ※沖縄視察時の県との意見交換会にて
2月8日	財政課長	佐藤衆議院・沖縄・北方問題対策特別委員長	県予算の概況、沖縄振興一括交付金減額による影響事例等説明
2月8日	財政課長	内閣府 総括参事官、総務課長、企画担当参事官、特定事業担当調査官(ほか)	第5回内閣府との意見交換会 (政府予算案の考え方について)

## 関連リンク

---

内閣府沖縄振興局HP 沖縄振興予算・決算(令和6年度当初予算)

令和6年度沖縄振興予算概算決定額等

[https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6\\_yosan.pdf](https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6_yosan.pdf)

令和6年度沖縄振興予算概算決定にかかる自見大臣コメント

[https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6\\_yosancomment.pdf](https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6_yosancomment.pdf)

令和6年度沖縄振興予算概算要求・要望

[https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6\\_gaisanyoukyu.pdf](https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6_gaisanyoukyu.pdf)

令和6年度沖縄振興予算概算要求・要望にかかる岡田大臣コメント

[https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6\\_gaisancomment.pdf](https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/2023/r6_gaisancomment.pdf)